

# 帝王切開分娩における母子相互作用に関する研究

近藤 潤子（聖路加看護大学）

人は自己の能力・美しさ・完全さ・健康・その他、価値をおいていたものを失うと強い悲しみや怒り等の情緒を体験する。自分が価値をおいていたものを失うことを喪失と呼び、これによって生ずる情緒反応を悲嘆反応という。

帝王切開（帝切）分娩による情緒体験は、出産における自己の能力を発揮しえないことからさまざまな喪失を招来し、この喪失体験が児との相互作用に影響を与えるのではないかと考え、本年度は前年度に引き続き研究計画の立案・修正・実施を行なった。

帝切の適応が告げられた産婦は、その事実に対しさまざまな情緒反応を示す。情緒反応のほとんど大部分は自己の能力の否定に由来する喪失の知覚である。これに関して今回、次の点を明らかにすることを目的として調査活動を行なった。

1) 帝切になることについて自己内部でどのように喪失を感じるか、また喪失を知覚させる原因となった人や事象にどのようなものがあったか。

2) 喪失によって惹起される悲嘆の過程において示される、悲嘆反応の種類・その強さ・それを増強あるいは軽減させる要因・持続期間等。

帝切分娩の産婦を対象とし、初めて帝切分娩の適応を知らされた時点から分娩後3カ月までに生ずる情緒反応を分析の対象とした。

情緒反応として、産婦の情緒体験を半統制型様式の面接法によって聴取した。その内容として、帝切を告げられた時の反応は入院時にさかのぼって後方視的に、それ以後の情緒反応は順次前方視的に聴取した。喪失は課題達成・身体機能制御・状況把握・情緒的特性・

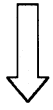
ボディイメージ・サポートの6カテゴリーに関して情報を得るように面接をすすめた。喪失が生起する機序として、自分が予想していたことと現実のズレを体験することに焦点をあて、さらに喪失を知覚した時にそれを惹き起こすことに関与する外的要因があったかに注目した。

産婦の体験した喪失の種類をカテゴリー分類に基づいて分類し、その頻度を算出し、情緒反応の深さに関する表出は尺度を設定して分析した。さらに喪失を知覚した後の悲嘆の経過を悲嘆反応の種類・強さ・持続期間等について分析した。

次いで、帝切分娩の母親と母子相互作用との関連性の分析を行なった。帝切の場合は身体的苦痛や生活上の制約を自然分娩の場合より多く体験するが、そのような身体的・精神的不快は緊張をもたらすので母子相互作用に影響を及ぼしているのではないかと、その結果、母子関係成立の過程に影響を与えるのではないかと考えた。そこで今回、母子相互作用を観察し産婦の心身の状態との関係を分析した。

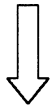
母子の係り合いが深く、機会も多い授乳をとりあげ、その間の母親の児への愛着行動の観察を行なった。愛着を示す行動として、特に母親の児への接近行動や発話を中心に観察した。観察時期として、分娩から退院までの間に、初回面会・初回授乳・および毎日1回の授乳時間を選択して行なった。行動観察は、ビデオ・テープレコーダーを用いた。児に対する愛着の深まりは面接によって聴取した。結果は経時的に愛着行動の種類を分類し頻度を算出した。

現在、得られた情報の処理を進めている。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



人は自己の能力・美しさ・完全さ・健康・その他,価値をおいていたものを失うと強い悲しみや怒り等の情緒を体験する。自分が価値をおいていたものを失うことを喪失と呼び,これによって生ずる情緒反応を悲嘆反応という。

帝王切開(帝切)分娩による情緒体験は,出産における自己の能力を発揮しえないことからさまざまな喪失を招来し,この喪失体験が児との相互作用に影響を与えるのではないかと考え,本年度は前年度に引き続き研究計画の立案・修正・実施を行なった。

帝切の適応が告げられた産婦は,その事実に対しさまざまな情緒反応を示す。情緒反応のほとんど大部分は自己の能力の否定に由来する喪失の知覚である。これに関して今回,次の点を明らかにすることを目的として調査活動を行なった。